

第18回「先輩と語る」講演会

製薬企業における製剤研究

演者：脇山 尚樹 さん（23期生）

第一三共製剤技術研究所・所長

日時：6月11日（月）14:45-16:15

場所：北海道大学薬学部臨床薬学講義室

主催：北海道大学薬学部・日本薬学会

共催：北海道大学薬学部同窓会

脇山尚樹さんは、1982年に大学院修士課程(製剤学講座)を修了後、三共株式会社に入社されました。以来、固形製剤一筋の研究を実施し、2007年の統合後も第一三共株式会社製剤技術研究所で製剤研究を続け、2010年4月からは製剤技術研究所長として活躍しています。この間、1994年に薬学博士(熊本大学)を取得し、1995-1996年にかけて1年間英国ブラッドフォード大学に留学しています。

一見、再編が進んできたかに見えた製薬業界において、最近、メガファーマの経営戦略の破綻、事業の多角化、バイオ医薬への回帰、創薬研究におけるオープンイノベーション等の大きな変化が起きています。このような変貌を遂げる製薬業界の動向に歩調を合わせるように、後発医薬品やワクチン事業などのハイブリッドビジネスにも挑戦し、「Global Pharma Innovator」の実現を目指す、第一三共の研究開発ビジョンと製剤研究の関り、そして企業における製剤研究の実際について、解説する予定です。また、後半の部では、30年間の製剤研究を中心とした医薬品開発で学んだことを基に企業において求められる人材像と製剤研究者についても触れてみたいと思います。企業の研究開発に興味を持っている方々のご参加をお待ちしております。当日は質問時間をもうけますので活発に質問していただけることを期待します。会場が狭いので早めにお越し下さい。

連絡先：北大大学院薬学研究院薬化学研究室 松田 彰(011-706-3228)